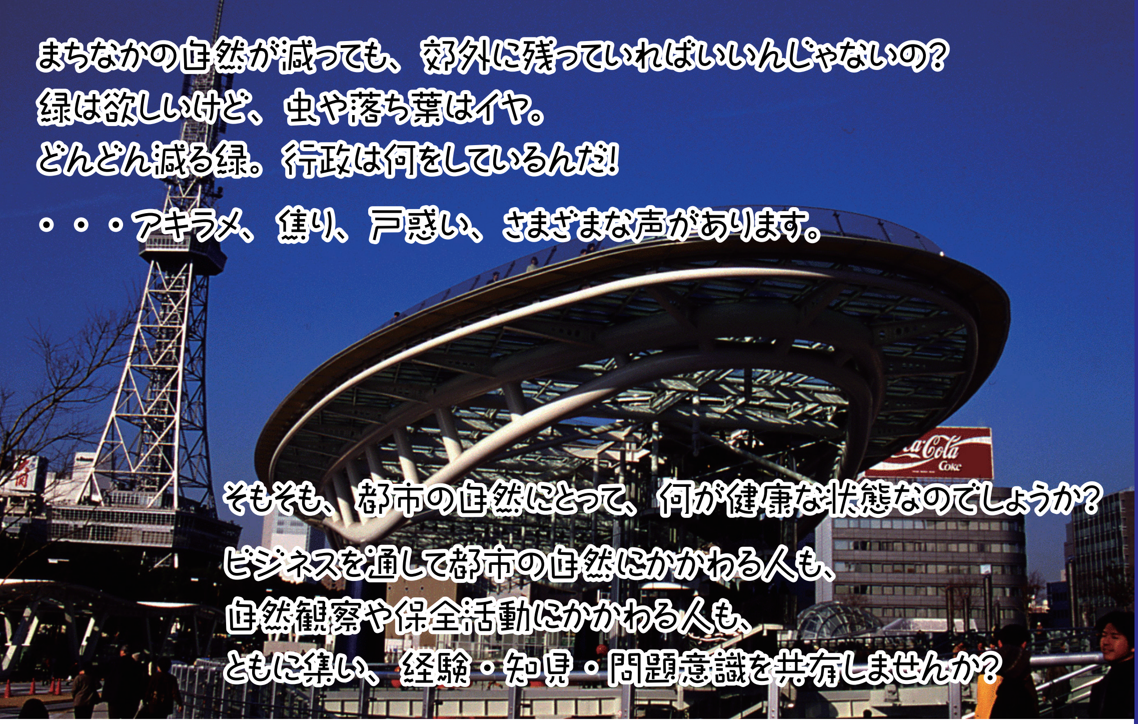
国連「生物多様性の10年」スタート年
「COP10」1周年
記念シンポジウム

都市インフラとしての自然を考える

―いきもの目線とまちづくり目線の統合を！―



まちなかの自然が減っても、郊外に残っていればいいんじゃないの？
緑は欲しいけど、虫や落ち葉はイヤ。
どんどん減る緑。行政は何をしているんだ！
・・・アキラメ、焦り、戸惑い、さまざまな声があります。

そもそも、都市の自然にとって、何が健康な状態なのでしょうか？
ビジネスを通して都市の自然にかかわる人も、
自然観察や保全活動にかかわる人も、
ともに集い、経験・知見・問題意識を共有しませんか？

日　時： 2011年10月15日（土）　13時30分−17時
場　所： 愛知芸術文化センター 12F　アートスペースA
定　員： 250名（要事前申込）
参加費： 無料

☆終了後（17時半～19時）、会場内にて懇親会を行います。（要事前申込）
一般1,000円、学生500円。

■基調講演　「都市インフラとしての自然環境」

森本幸裕 氏〔京都大学大学院教授〕

■事例発表

- **都市の自然のモノサシを求めて**：加藤　正嗣〔なごや環境大学実行委員会事務局長〕
- **ポストCOP10の企業実践**：原口　真　氏〔（株）インターリスク総研主任研究員〕
- **市民モニタリングの実績と展望**：矢部　隆　氏〔愛知学泉大学教授〕
- **名古屋の緑の明日をさぐる**：小池　敦夫　氏〔名古屋市建設事業サービス財団〕

■パネルディスカッション

「21世紀型まちづくり―いきもの目線とまちづくり目線の統合」

コーディネーター： 堀越　哲美　氏〔名古屋工業大学大学院教授〕／新海　洋子氏〔環境省　中部環境パートナーシップオフィス〕
パネリスト： 森本　幸裕氏／加藤　正嗣／原口　真氏／矢部　隆氏／小池　敦夫氏
コメンテーター： 松沢　孝晋氏〔（社）日本環境アセスメント協会中部支部〕／野中　賢輔氏〔（社）名古屋建設業協会〕

主 催： なごや環境大学実行委員会
共 催：（公社）土木学会中部支部、（社）日本造園学会中部支部、（社）日本建築学会東海支部、（社）日本環境アセスメント協会中部支部、（社）ランドスケープコンサルタンツ協会中部支部、（社）名古屋建設業協会、（社）日本造園建設業協会愛知県支部、（社）愛知県造園建設業協会、（公社）愛知建築士会、（公社）日本技術士会中部本部、日本ビオトープ管理士会中部支部、なごや生物多様性保全活動協議会、環境省 中部環境パートナーシップオフィス、（財）名古屋市みどりの協会、（財）名古屋市建設事業サービス財団（順不同）

申込み： 氏名、連絡先（E-mail または Tel/Fax）を明記して 9月30日までにお申し込みください。
なごや環境大学実行委員会事務局（E-mail: jimu@n-kd.jp　　Tel/Fax: 052-223-1223）